

令和 元年 5 月 30 日現在

機関番号：34419

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02349

研究課題名(和文)人形衣装調査を中心とした乙女文楽の総合的研究

研究課題名(英文)General Study of Otome-bunraku focusing on the costumes

研究代表者

鈴木 公子(林公子)(SUZUKI, Kimiko)

近畿大学・文芸学部・教授

研究者番号：50183091

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文):大阪大学大学院文学研究科に所蔵されている、昭和40年代の乙女文楽の一座のものとして伝えられる人形衣装・人形胴を中心とした資料約500点について、所蔵資料がどのような一座によって用いられていたものなのか、その性格を明らかにするために、第1次データ・ベースを作成するとともに、乙女文楽の2種類の人形操作方法(腕金式操作法・胴金式操作法)の実際について、現在、乙女文楽の人形操作の技芸を伝承している個人、団体、関係者、また、乙女文楽創設期を知る関係者にインタビュー調査を行った。その結果、研究対象資料は、単一の人形操作法の人形衣装・人形胴の資料と見るべきではないと考えられることが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究対象とした人形衣装・人形胴が、どのような操法の人形に用いられていたものであったかを明らかにすることで、これらの人形衣装・人形胴を用いて公演を行っていた乙女文楽の座がどのような系譜の一座であったかを明らかにすることができる。さらに、衣装から上演された演目を推定し、この乙女文楽の一座のレパートリーを明らかにすることで乙女文楽の実態に迫ることができる。また、文献資料と付き合わせることによって、乙女文楽の歴史の変遷を明らかにし、乙女文楽を産み、支えた近代の日本の芸能環境について考察することが可能になる。

研究成果の概要(英文):As it is unknown whether 500 pieces puppet costumes and bodies of Otome-bunraku which from the troupe of 1960's owned by Osaka Graduate School of Literature were used by the arm bar troupe or the body bar troupe, we decided to build a basic database and to make interviews to those who succeed these two kinds of manipulation of Otome-bunraku, by the arm bar and by the body bar. As the result, it became clear that the costumes and bodies are a mixture for both type of manipulations.

研究分野：歌舞伎史

キーワード：乙女文楽 人形衣装資料 女性芸能 大阪の芸能 近代の芸能 腕金式 胴金式

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

乙女文楽は、文楽式の三人遣いの人形を一人で遣うために大正末期に大阪で考案された一人遣いの形式による人形浄瑠璃の一種で、若い女性の人形遣いのみで上演され、昭和初期の大阪を中心に人気を得たといわれている。

大阪大学大学院文学研究科には、この乙女文楽の人形衣装を中心とした資料が500点以上所蔵されている。第二次世界大戦後から昭和40年代頃まで活動していた乙女文楽の一座が使用していた衣装類と考えられるもので、人形浄瑠璃研究者の吉永孝雄氏から寄贈されたものであるが、資料の来歴などについては不明な点が多く、大学の所蔵資料として一定の整理がなされてはいたが、芸能史的な検証が行われることなく保管されていた。

未だ芸能史的な共通理解を形成するに至っていない乙女文楽の実態と歴史的な変遷の解明を、この衣装資料の本格的な調査を行うことによって試みよう考えるに至った。

2. 研究の目的

(1) 大阪大学大学院文学研究科が所蔵する500点を超える資料を詳細に調査し、その性格を明らかにすることが第一の目的である。寄贈を受けたのは衣装や人形胴のほか、小道具類と幕類のみで、上演内容を端的に示す人形のカシラは寄贈されていない。また興行の内容を示すような紙資料も含まれていない。しかしながら、所蔵資料から判明することを丹念に積み重ね、資料の性格や上演された演目を明らかにすることで、乙女文楽の実態や歴史的変遷に迫りたい。

(2) 浄瑠璃関係の雑誌、演劇関係の雑誌あるいは新聞などに掲載された関連記事の調査を行うことで、乙女文楽の誕生から戦後にわたる乙女文楽の興行のあり方についての歴史を文献的に検証することが第二の目的である。

(3) 歌舞伎や文楽、あるいは音楽としての義太夫節、さらにはそうした芸能の近代における歴史的展開や、芸能における女性芸能者の問題についての研究を積み重ねている研究者による共同研究によって、より複合的な視座から乙女文楽の歴史について一定の理解を芸能史に付け加えることが第三の目的である。人形遣いが女性ばかりであること、そして人形の操法が特殊であることはもちろんであるが、本研究ではそうした独特の形態を持った芸能が社会の中でいかにして成立し、また数十年の間継続していったのか、乙女文楽が担った社会的な役割あるいは位置づけについて検討していきたい。

(4) これらの研究成果を公開することで、近代の日本における芸能の多様性、その豊かな文化的土壌の在り方を示すことが第四の目的である。

3. 研究の方法

(1) 乙女文楽の人形衣装を中心とした対象資料の性格を明らかにするために、個々の資料の詳細な調査を行ってデータベース化し、資料分析をおこなって、その性格を明らかにする。

(2) 乙女文楽には腕金式と胴金式という2種類の人形操法が、その誕生期に相次いで考案された。それぞれの操法を継承する関係者に聞き取り調査を行い、それぞれの操法で用いられる衣装や胴の特徴を知り、対象資料の衣装や胴が、どちらの操法の人形に用いられたものかを探る。

(3) 乙女文楽誕生時の人形遣いを知る関係者、戦後の乙女文楽を知る研究者など、乙女文楽の歴史を直接・間接に知る人たちに聞き取り調査を行い、乙女文楽の歴史を探る。

(4) 浄瑠璃関係の雑誌、演劇関係の雑誌、音楽関係の雑誌、新聞記事の調査を行い、文献から乙女文楽の実態を探る。

4. 研究成果

研究対象の乙女文楽の人形衣装・人形胴の第1次データベースを作成し、聞き取り調査で得た知見から対象資料の性格を分析していくにつれ、研究着手以前に想定されていたような単線的な方法、すなわち、それが、腕金式の人形衣装・人形胴と、胴金式の人形衣装・人形胴のどちらであるのかを明らかにすることによって、文献に現れたどの座の資料であるかを把握し、その座の来歴を文献等で跡づけることで、その性格と来歴を明らかにしようとするという方法では、資料の性格の解明は不可能であるということが明らかになった。大正末期の乙女文楽誕生期に、二つの異なる人形操作方法が相次いで考案され、いくつかの一座が各地で公演を行い、やがて衰退して終焉を迎えた乙女文楽の歴史的な経緯全体を、対象資料は言わば象徴するものとして、複合的に捉えなければならないことが判明した。

その結果を受けて、さらに詳細なデータ採取が必要であることが判明した人形胴の肩板の細部についての再調査を行った結果、肩板から見ても、資料全体が複合的な性格を持っていることが明らかになり、乙女文楽の歴史の解明のための新たな視座を得ることができた。

また、これらの調査に基づいた資料のデータベース化およびその公開に向けての基盤を築くことができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 0件)

〔学会発表〕(計 1件)

土田牧子・中尾薫・横田洋・澤井万七美、女性芸能者の近代 その特殊性と普遍性、2016年度日本演劇学会全国大会、2016年

〔図書〕(計 0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年:

国内外の別:

取得状況(計 0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名: 土田 牧子

ローマ字氏名: (TUCHIDA, Makiko)

所属研究機関名: 共立女子大学

部局名: 文芸学部

職名: 専任講師

研究者番号(8桁): 30466958

研究分担者氏名: 中尾 薫

ローマ字氏名: (NAKAO, Kaoru)

所属研究機関名: 大阪大学大学院

部局名: 文学研究科

職名: 准教授

研究者番号(8桁): 30546247

研究分担者氏名: 後藤静夫

ローマ字氏名: (GOTO, Shizuo)

所属研究機関名: 京都市立芸術大学

部局名: 日本伝統音楽研究センター

職名: 名誉教授

研究者番号(8桁): 50381926

研究分担者氏名：横田 洋
ローマ字氏名：(YOKOTA, Hiroshi)
所属研究機関名：大阪大学大学院
部局名：総合学術博物館
職名：助教
研究者番号(8桁)：50513115

研究分担者氏名：澤井 万七美
ローマ字氏名：(SAWAI, Manami)
所属研究機関名：沖縄工業高等専門学校
部局名：総合科学科
職名：准教授
研究者番号(8桁)：60330726

(2)研究協力者

研究協力者氏名：廣井 栄子
ローマ字氏名：HIROI, Eiko

研究協力者氏名：藤本 百々子
ローマ字氏名：FUJIMOTO, Momoko

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。